

# ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4F庭園 ガーベラ

## 初夢

小森 公美  
2022年 1月 15日

夢をよく見るという人と見ないという人がいるのは、覚えているかいないかの違いで誰でも寝ている間に3～4つの夢を見ているのだそうです。

初夢で見ると縁起が良いとされている1富士2鷹3茄子に続きがあるのは皆様ご存じでしょうか。4扇5煙草6座頭だそうです。扇は末広がり、煙草は煙が上昇していく様子を運気が上昇していく様子に見立てたもの、怪我無い（毛が無い）等の他にも色々な説があるようです。

睡眠中は古い記憶を引き出したり新しい記憶を保存したり、と記憶の貯蔵庫の整理が行われているそうです。起きている間に物事を出来るだけ前向きに考える癖をつけるように気を付けていれば、良い夢を見る確率も高まるようなので夢の為だけではありませんが何事も前向きに捉えていきたいと思えます。



写真=ロイヤルホーム正面玄関（2022年 1月 1日）

## 新年のご挨拶

岡 聖史  
2022年 1月 13日

「あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。」

毎年、1月1日、2日、3日とこの言葉がホームの中でも交わされます。ご入居者様と職員、ご入居者様同士、職員同士と様々な方面に繋がりがあります。私も、1月1日は出勤でしたので、各フロアにご挨拶にまわらせていただきました。もちろん、全てのご入居者様にご挨拶ができたわけではありませんが、満足感是非常に高まりました。

お正月は不思議なもので、12月31日の次の日というだけなのですが、非常にありがたく感じてしまいます。特に2021年の1月1日はコロナウイルスの関係で、ご面会も難しい状況でした。その為か、2022年の1月はお入居者様やご家族様にとって待ちに待ったお正月となったのではないのでしょうか。「では、いつてまいります。」と職員に挨拶をされて、ご家族の付き添いにて外出された方は満面に笑みでした。「もどりました」とご実家に外泊された方も「楽しかったですよ」

とこちらも満足された様子でした。一方、ホーム内では1日からレクリエーションが行われました。こちらは、12/31の音楽番組の続きとばかりに、懐かしのレコードがかけられて、落ち着いた時間を過ごされていました（詳細は次項）。

「お餅が食べたいのよ」、「お正月だからお餅じゃなきゃねえ」と懇願されているご入居者様がいらっしやいます。飲み込みの問題で制限がある場合には何とか疑似的な代用品で満足感が得られないか、毎年試行錯誤しています（消費者庁が2018～2019年までの2年間の窒息事故の死亡者を分析したところ、65歳以上では2018年で363人、2019年で298人、計661人だったそうです）。

このようなやり取りが行われた三が日でした。2021年の1月はコロナ感染がありましたので、このようなお話は難しい状況でしたので、2年ぶりのお正月を皆様が堪能できていれば幸いです。

### 引用

2022/1/11アクセス <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/teeth/h-10-001.html>



写真=12月のスペシャルメニュー（昼食 12月24日）  
ビーフシチュー温野菜添え、デニッシュパン、ロールケーキ、冬瓜のカニ入りぐらっかけ、ポタージュスープ、サーモンのシーザーサラダ

## 今月のトピック

#年の初めの音楽に

#委員会活動報告(小アクティビティ)

#スタッフ紹介

#おしらせ(3回目接種)



# 年の初めの音楽に

石井 太一  
2022年 1月 12日

新しい年の幕開けは、ノスタルジア溢れるレコードの音色をお楽しみ頂きます。数百枚に及ぶレコードコレクションの中から、お好みのジャケットを選んで新年に相応しい、レトロな調べに酔ってみるのも中々良いものです。

「中古レコード矢蘭堂」は、昨年より月1回各フロアで提供している、中易によるレコードプレイヤーを使用した音楽レクです。今年初めのレクリエーションとしてお正月に、獅子舞と共に皆様のもとにお届け致しました。冒頭、お囃子に合わせて中易扮する獅子がご入居者様の各お部屋を回り、舞で皆様の無病息災を祈念します。獅子は中易のハンドメイドで「パカパカ・ギミック」が毎年ご入居者様に人気です。頭を咬んでもらうと今年1年の健康や目標が達成出来る様な気持ちになります。



写真=レコードを聴いている場面（2022年 1月 1日）

獅子舞の後は、いよいよレコード本番です。中易がこよなく愛する何百枚にも及ぶレコードコレクション達をご入居者様と一堂になって囲み、お一人3枚の聴きたいレコードを実際に手に取り選んで頂きます。リスクヘッジの為に皆様フェイスシールドとマスクを着用です。どのレコードジャケットもシルバーエイジ世代の皆様には、懐かしのナンバーで、「これにしようか、あれにしようか」と楽しく迷っているお姿が印象的です。選り出したレコードに針を落とすと、歌い手の世界観へ皆様を誘います。黙ってじっくりと聴かれる方、思い出に更けながら聴いている方、「あの頃は…」と会話を始められる方等、楽しみ方はご入居者様それぞれで、多様性を認め合うひと時ともなっています。

ご入居者様が選ぶナンバーベスト3は、越路吹雪さんの『愛の讃歌』、江利チエミさんの『テネシー・ワルツ』、テレサ・テンさんの『つぐない』でした。江利チエミさんは昭和38年・39年にNHK紅白歌合戦に出場されながら紅組司会を担当されたというエピソードをとあるご入居者様から伺いました。世代を越えた会話は、ご入居者様と職員の襷として構築されていく事が、2022年の「ロイヤルホームコミュニティ」ではないかと考えております。今年もどうぞよろしくお願い致します。

## スタッフ紹介

2022年1月1日



## 振り返り

岡 聖史  
2022年 1月 4日

年末の漫才番組で、50歳と40歳のコンビが優勝しました。紆余曲折の末にたどり着いたコンビは、遅咲きの花となりました。日本語には固執するという言葉があります。これは、どちらかという頭が固く、こだわりが強いイメージを連想させます。英語訳ではpersistが該当し、語源はper(一貫して)+sist(立ち続ける)から成るようで、個人的には行動に焦点を合わせている点が好印象です。こだわりが強すぎると周囲とうまくいきませんが、長く続ける事は成功の必要条件だとわかります。今回の漫才師のように、こだわりを自身の行動で示せると、納得のできる結果が見られるのかもしれない。



## お知らせ (3回目接種)

1月11日、12日、14日の3日間でコロナワクチンのブースター（3回目）接種を実施いたしました。今回はロイヤルホームのご入居者様と職員が同じタイミングで接種することになりました。オミクロン株が急速に広がり始めていますので、なるべく早い段階で接種し抵抗力を高める狙いです。総生会全体でも1月中には終了予定です。

写真=12月のフラワーアレンジメント作品（1月10日）

## 委員会活動報告（小アクティビティー委員会）

中易 宇功  
2022年 1月 12日

小アクティビティー委員会では季節の行事に合わせたレクリエーションと日々のレクリエーションの計画・実行を行っています。

昨年は、夏祭りや夏祭りに伴うビンゴゲームの景品の準備を行いながら、漢字クイズ・ウクレレ演奏

や散歩等、様々なレクリエーションを動画にして見ていただく試みに挑戦いたしました。コロナ禍において委員会は苦しい状況にありましたが負けてはいられません。

昨年のレクリエーションで印象に残っているのが「苔テラリウム」制作です。「苔テラリウム」とは水

だけで育つ苔です。土も使わないため手もかからず、そして「可愛い」（だそうです。）

レクリエーションは古いラテン語の「もう一度生きる。」という語源から呼ばれるようになったそうです。利用者の方々と寄り添い生きる喜びをもう一度のお手伝いをしていきたいと思ひます。